

(様式 1-3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 26 年 11 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	4	事業名	災害公営住宅駐車場整備事業（横堀平）	事業番号	◆A-1-2-1
交付団体	大玉村		事業実施主体（直接/間接）	大玉村（直接）	
総交付対象事業費	50,384（千円）		全体事業費	50,384（千円）	
事業概要					
原子力災害により避難を余儀なくされている居住制限者の居住の安定を確保するための、災害公営住宅に係る駐車場を整備する。					
【整備概要】					
整備台数：134 台分					
整備箇所：大玉村玉井字横堀平地内					
整備内容：① 屋外の平面駐車とし、見通しの良い場所に整備。					
② 台数は住戸に対して 100%～200%の範囲で、周辺状況や地元自治体の条例等を勘案して必要なスペースを確保					
③ 駐車スペースの大きさは幅 2.5m、奥行き 5.0m程度					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
『福島県復興計画(第2次)』					
取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】					
取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中					
「大玉村災害復興ビジョン（平成 24 年 3 月）」					
取組名：快適な住生活の確保					
取組内容：安心して大玉に住み続けられる、転入してもらえる住環境の再生					
原発事故直後に富岡町民を受け入れ、応急仮設住宅に 400 人が生活をして（平成 24 年 1 月現在）おり、避難生活はさらに長期となる見込みである。					
避難生活を余儀なくされている富岡町民が、一刻も早く安心して住める住環境を整備し、健康で文化的な生活ができるよう支援する。					
居住制限者の避難の状況との関係					
居住制限者向けの災害公営住宅に入居する居住制限者の自動車保有台数は多く、避難元の市町村への一時帰宅の際に自動車を利用することからも、災害公営住宅には周辺状況や地元自治体の条例等を勘案し、十分な駐車場整備が必要である。					

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	A-1-2
事業名	災害公営住宅整備事業（横堀平）
交付団体	大玉村
基幹事業との関連性	
本村は、地理的条件や生活環境などから自動車保有台数が全国的にも高く、居住制限者も複数台所有しているところから、災害公営住宅の整備と併せ駐車場を整備し、団地内の居住性・利便性の向上を図るとともに、居住制限者の生活再建を支援する。	